

国際会議から

第4回T-LOGS会議

本会議は、国際および地域・都市の交通物流分野の研究者・実務者を中心とした会議であり、シンガポール（第1回）、中国（第2回）、日本（第3回）に続き、韓国で第4回となります。今回の主題は、災害時における物流の課題で「韓国の物流政策と実践」、「東日本大震災後の物流」をテーマに韓国と日本からそれぞれ基調講演と、パネルディスカッションが行われました。その後、学術・実務論文を発表するオーラルセッションとポスターセッションがあり、

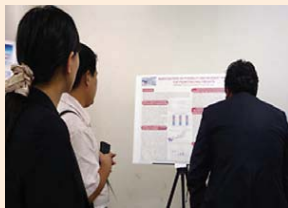


厲 国権
信号・情報技術研究部
交通計画研究室
主任研究員

物流に関する各種課題、環境問題、SCM (Supply Chain Management) モデルの開発、鉄道を含むインターモーダル輸送、情報技術などに対して最先端の研究や状況報告など、合計69編の論文発表がありました。また、釜山新港にある物流施設を巡る見学会が実施されました。港埠頭施設を見学し、鉄道路線導入等の施設計画を伺い、交通・物流に対する韓国の計画・作業・ITシステムを一体化する先進性を強く感じることができました。



見学会で紹介された物流施設の様子



ポスターセッションの様子

会議名称：The 4th International Conference on Transport and Logistics (T-LOG 2012)

開催回数：4回

開催頻度：1回/2年

主催者：T-Log委員会

開催期間：2012年8月23～25日

開催国および開催地：大韓民国釜山広域市 韓国海洋大学

会議ウェブサイト：<http://www.t-log2012.info/>



出席者の記念写真